

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所保育士加配							掲載ページ	
								H23年度新規	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		207,206	千円	193,576	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	質の高い保育を実施するため、保育所児童1人あたりの保育士配置基準の改善を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	1歳児の保育士配置基準の改善を、国の基準である児童6人に対し1人から児童5人に対し1人に改善しました。平成26年度も引き続き保育の質の向上に努めていきます。					
活動指標	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	1歳保育士配置基準の改善を実施			—		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	加配対象となる全保育所で1歳児保育士の加配を行います。  （最終目標と最終年度）平成26年度	—	—	—	大変順調	
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ		

### 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	1歳児の保育士配置基準を、本市独自の加配した結果、子ども一人ひとりに関わることができ、子ども達に落ち着きが出てきました。また、子どもの怪我が減った等、保育の質の向上に繋がることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	加配保育士については、常勤保育士ではなく、配置する保育士を臨時職員で対応するなどしており、経済性を意識しながら事業の実施に努めています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

平成23年7月から開始した1歳児加配(5:1)については、平成25年4月1日より「北九州市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例」(平成24年北九州市条例第64号)が施行されることに伴い、1歳児5人につき保育士1名の配置を義務付けることとなりました。よって、引き続き、保育の質の向上に努めていきます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	延長保育事業						掲載ページ		
							42		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		853,830	千円	848,778	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保護者の就労形態の多様化や、残業等に伴う保育時間の延長への需要に対応するため、通常の保育時間を越えて、午後7時まで延長する「延長保育」の実施箇所数を拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育の実施を検討します。					
<b>活動計画</b>	延長保育事業を実施する保育所の施設数を拡充します。 午後8時までの延長保育を拡充します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績 （達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	延長保育事業を実施する保育所の施設数（午後7時まで）						
	実施箇所数を増やすことで、保護者の就労形態の多様化等に伴う保育の需要に対応できると考え、活動指標としました。  （最終目標と最終年度） 153施設、平成26年度	144 施設	148 施設	148 施設  100.0 %	大変順調  順調  やや遅れ  遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック     <b>順調</b>	

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は、延長保育事業（1時間延長）の実施施設を4施設増設し、合計148施設延長保育を実施しました。平成25年度の延べ利用児童数は、17,925人であり、多様化する就労形態への対応として高い効果があります。
	<b>「経済性」「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国が示す補助基準額等に基づき補助を行っており、効果的に事業を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
保護者の就労形態の多様化に対応するため、事業の拡充を行います。「延長保育」の実施施設数を、引き続き拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育について平成26年4月から実施し、今後拡充を図ります。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	夜間(長時間)保育事業						掲載ページ		
							42		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		9,400	千円	10,958	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 →

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するため、午前7時から深夜0時まで利用できる「夜間保育所」を1施設開設しています。今後は利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。
<b>活動計画</b>	現在の施設で事業を継続し利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。			

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
		夜間保育事業を実施している保育所の現状維持				
	保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するためには、夜間保育事業実施施設の維持が必要であると考え、実施数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 1所(現状維持)、平成26年度	1 施設	1 施設	1 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調

### 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	現在の入所状況及び入所申込状況から考えると、現状1施設で対応可能と思われます。平成25年度は延べ利用児童数は、524人/月であり、多様化する就労形態への対応として深夜にまで仕事が及ぶ保護者に高い効果があります。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国が示す補助基準額等に基づき補助を行っており、効果的に事業を実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

保護者の就労形態の多様化等に対応するため、事業を継続します。
--------------------------------

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	休日保育事業							掲載ページ	
								42	
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		15,993	千円	17,353	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	日曜日、祝日及び年末に就労している保護者に対応するため、休日等に指定された保育所を開所し、保護者の就労を支援します。					<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。
<b>活動計画</b>	休日等に指定した保育所を開所します。							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】		
	休日保育事業を実施している保育所の施設数	7 施設	7 施設	7 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	日曜日、祝日及び年末に就労している保護者からの、休日等の保育に対する高い需要があると考えられるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 9施設、平成26年度			100.0 %				
	（最終目標と最終年度）				順調	<b>順調</b>		
				やや遅れ				
				遅れ				

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保護者の就労形態が多様化する中、各区1か所で事業を実施しました。平成25年度の延べ利用児童数は1,306人・日であり、多様化する就労形態への対応として効果があつたことから、順調としました。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額としており、合理的に実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

保護者の就労形態の多様化に対応するため、現状の箇所数を維持し、事業を実施します。
--

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	特定保育事業						掲載ページ		
							43		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		5,760	千円	5,760	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	パート就労などの多様な働き方を支援するため、週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
<b>活動計画</b>	週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。					
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	特定保育事業を実施している保育所の施設数					
	パート勤務などの多様な就労形態に応じた、柔軟な保育に対する需要があると考えられるため、活動指標としました。  （最終目標と最終年度） 5施設（現状維持）、平成26年度	5 施設	5 施設	5 施設  100.0 %	大変順調  順調  やや遅れ  遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック       <b>順調</b>
	（最終目標と最終年度）					

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度の延べ利用児童数は639人・日であり、多様化する就労形態に対応しており一定の効果があつたと考えられることから、順調としました。 しかしながら、実際に特定保育を利用した児童の実人数は、全市で8名であり、市民ニーズの把握・分析、事業内容の検討が必要です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額となっており、合理的に実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

利用実績、市民のニーズに即した必要施設数での実施について、検討を行います。
---------------------------------------

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	急病の子どもを支える仕組みづくり						掲載ページ		
							43		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気について理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。					<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。
<b>活動計画</b>		仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気について理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】		
	社会福祉研修所における研修の実施と企業などの職場に対する働きかけ	-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	保育所等の施設が、子どもの病気時の対応についての理解を深めるため、社会福祉研修所において継続的に研修を実施します。 企業などの職場に対して、子どもの病気についての理解を深めるための情報提供を行います。 <small>（最終目標と最終年度）</small>							
	「ほっと子育てふれあいセンター」など各種団体による支援の促進	-	-	-	順調	順調		
「ほっと子育てふれあいセンター」など各種団体による支援の促進のための情報提供を行います。 <small>（最終目標と最終年度）</small>				やや遅れ 遅れ				

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保育所に対しては、社会福祉研修所における研修を通じて乳幼児期の子どもの病気や、保育所などでの対応についての啓発を行ったことから、順調としました。この研修は、保育所等の施設が子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支えるものであり、その有効性は高いと考えます。
	<b>「経済性」「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育課の課長級職員を研修の講師とするなど、必要最小限のコストで高い効果が得られるものと考えます。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

企業などの職場に対して、子どもの病気についての理解を深めるための情報提供の実施や、「ほっと子育てふれあいセンター」など、各種団体による支援の促進のための情報提供を行います。
--

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	病児・病後児保育の充実						掲載ページ		
							43		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		101,669	千円	142,807	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価					
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	病児・病後児保育室を利用することで、保護者の子育てと就労の両立が可能な状態を目指します。							
<b>活動計画</b>	<p>病児・病後児の児童に対応するため、医療機関併設型の施設において児童を保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。また、利用ニーズの高い地域において、2箇所の新規開設を目指します。</p> <p>病児・病後児保育室併設の医療機関に加え、各保育所や幼稚園など、対象の保護者が利用する施設でパンフレットの配布やポスターを掲示します。また、市ホームページや市政だより等情報誌へ掲載するなど、効果的なPRにより、事業の認知度上昇を図り、対象者の利用促進につなげます。</p>						活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>			
	病児・病後児保育事業を実施している施設の箇所数	9 施設 <small>（100%）</small>	9 施設	9 施設  100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	（最終目標と最終年度）11箇所、平成26年度				順調				
	病児・病後児保育事業の効果的なPR	-	効果的なPRの実施	向上	やや遅れ	順調			
	（最終目標と最終年度）				遅れ				

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】を踏まえた分析</b>	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	病児・病後児保育事業の実施施設については、平成25年度中は現状維持（9箇所）とし、平成26年度以降の拡充に向け検討を行いました。 「病児保育・病後児保育利用のてびき」やポスターを作成し、関係各施設で配布・掲示を行うとともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努めました。加えて、市ホームページ上に利用申請書類を掲載し、保護者が自宅でダウンロードできるようにしました。以上のことから、活動は順調と判断しました。また、9箇所で開催しましたが、利用児童数は前年度に比べ増加しており、保護者ニーズは依然高く、その有効性は高いと考えます。
	<b>「経済性」「効率性」の分析</b>	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の補助基準額を踏まえた委託料で所用の人員配置をしつつ、多忙な小児科医の自助努力により事業を実施している状況から、コスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
平成26年度末までに2箇所の新規開設を行い、計11箇所での事業実施を目指します。